

授 業 科目名	国際法 I	選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブ タイトル	国際社会の法の構造と作用	担当者	青木 隆			
講義概要	<p>【概要】</p> <p>条約、国際判例等を素材に国際法の「総論」を解説する講義です。具体的には、下記講義内容（各項目は、目安と考えてください。）を順に講述します。これが解っていれば日本の大学法学部生としてどこに行っても恥ずかしくない水準を保ちたいと考えています。</p> <p>【到達目標】</p> <p>国際法学では、(1)国際社会をどのように捉えているか、(2)国際社会は法がどのように生まれ、変わるか、(3)法はどのように働いているか、を理解していただければ幸いです。</p>					
履修条件	受講に際しては良識ある大学生として行動することを求めます。また、国際法Ⅱを共に履修することを強く勧めます。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 特定の図書は指定しません。</p> <p>【参考書】 有斐閣『国際条約集』等を活用して、条約文を教室において参照できると講義の理解が深まるはずです。その他の文献を含めて、資料に関する情報については初回の講義で解説します。</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス：参考文献紹介、受講規則の決定など					
2	国際社会とはなにか：その構造と変容					
3	国際社会における戦争と法					
4	国際社会の法と国の法					
5	国際法の主体：国の構成と外交					
6	国の基本的権利義務					
7	国際法の法源：総説、慣習法					
8	国際法の法源：条約					
9	国家管轄権					
10	国際刑事法					
11	国際法の遵守と違反の帰結					
12	国際責任					
13	国際紛争の平和的解決：外交的手段					
14	国際裁判の発展					
15	実力による紛争の解決					
評価方法	筆記試験（自筆ノート、配付資料及び条文のみ持ち込み可）の成績及び受講態度により単位認定および成績評価を行います。					
評価基準	試験において講義内容を理解していることを示したと認められる答案には「A」、理解や表現に不足があるものはその程度に応じて「B」または「C」、設問または講義内容の理解が著しく劣るものはその程度に応じて「D」または「E」（ともに不合格）とし、これに受講態度（質問票への記述の量および質（試験の評価基準に準じる。）に基づく。）を加味して受講者の評点とします。					
その他	特になし					